

たんぽぽ

第38号 三州病院広報誌 2010年7月号

三州健康教室100回記念

当院では、市民の方々に健康増進への関心を高めてもらおうと、2002年から毎月1回、三州健康教室を開催しています。

今回100回目を記念して市民公開講座「**健やかな毎日のために**」を、都城総合文化ホールで開催しました。

市民の方や医療従事者ら約900人が来場され、熱心に聞き入って下さいました。



「ここまで進んだがん治療」を講演して下さいました夏越祥次先生は、「個々の育った環境と同様にがんの性質もそれぞれ違うので、適切な治療法を医師と一緒に話し合う信頼関係が大切です」と、動画等を使用して分かり易くユーモアを交えながら話されました。

「緩和ケアが目指すもの」を講演して下さいました柏木哲夫先生は、「会話する時は、相手がちょうどいいと感じて、心を開いてくれる様な距離感を知ることが大切です」と話されました。

講演の他にも、「癒しのコンサート」や「バイオリン演奏」などが行われました。会場では歌を聴いて涙汲む方も見られ、アンケート結果にも感激の言葉が多数寄せられましたので、一部ご紹介致します。

- ・医療従事者の1人として、又一般家族の1人(先日義父を肝臓で亡くしました)として、両者の立場から聴かせて頂きました。大変解り易く良かったです。
- ・今まで、がんについてとても不安でしたが、今回のお話でいろいろな治療法がある事を知り安心しました。
- ・コンサートも本当に素敵で、亡くなった義父を思い出し涙が出ました。
- ・宮崎市から参りました。地域に密着した、根付いた三州病院のすばらしさに感動しました。
- ・当院(勤務病院)も今年25周年になりますが、貴院のように地域に密着できる病院でありたいと思いました。講演は市民向けでとても解り易かったです。

当院はこれからも、市民の皆様に、健康増進への啓蒙活動と、最適な医療を提供できるように努力して参ります。

これからも三州健康教室を宜しく願い申し上げます。

がん検診のお知らせ

5月から都城市と三股町のがん検診が今年も始まりました。がんの早期発見のために、ぜひご利用下さい。

実施期間：平成22年5月1日～平成23年2月28日

検診内容	対象者	都城市	三股町
胃がん検診 (胃透視)	本年度 40歳以上 の方	2,400円	3,700円
大腸がん検診 (便潜血検査)		900円	——
乳がん検診 (マンモグラフィ・視触診)	本年度 40歳以上 の 奇数年生まれ の方	1,200円	1,900円
前立腺がん検診 (採血検査)	本年度 50歳以上 の 奇数年生まれ の方	1,200円	1,700円

☆次の方は検診料が無料になりますので、受付で証明書を提示して下さい。

- ・受診日において都城市在住の70歳以上の方、三股町在住の75歳以上の方(保険証)
- ・生活保護世帯(生活保護証明書)
- ・市民税非課税世帯【都城市のみ】(各種検診自己負担免除通知書)

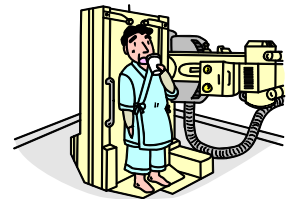
※胃がん検診・乳がん検診は予約制になっておりますので、事前にお電話等でお問い合わせ下さい。

※検診対象外の方でも保険証を使って検査できますので、ご相談下さい。

～検査の内容～

<胃がん検診>

- ・**予約**が必要な検査です。
 - ・バリウムを飲み、胃の透視画像を見ながらX線撮影を行います。
 - ・検査時間は約10分～15分です。
- ※胃カメラとは異なる検査ですので予約の際にはご確認下さい。



<大腸がん検診>

- ・2日続けて便を採取して便中の血液成分を調べる検査です。
- ・検査結果は1週間程で出ます。

<乳がん検診>

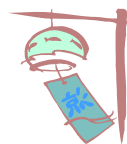
- ・**予約**が必要な検査です。
 - ・マンモグラフィ(乳房撮影)と視触診を行います。
- ※乳腺超音波検査は検診ではありません。希望される方は予約時にお申し付け下さい。

<前立腺がん検診>

- ・採血をし、血中のPSA値(前立腺がん腫瘍マーカ)を測定する検査です。
- ・検査結果は3日程で出ます。



新入職員紹介



薬剤師 下石真紀

今年の2月から入職し、もう6ヶ月に入ろうとしています。
環境がめまぐるしく変わり、戸惑うこともありましたが、周りの職員に助けをもらいながら元気に薬局運営を行って参ります。

「心身共に健康である」をモットーに、社会人として人間性を高めていくと共に、薬剤師としても成長するよう努めていきたいと思っています。

よろしくお願い致します。

急性期病棟看護師 白蓋喜恵

入職してからもうすぐ4ヶ月が経とうとしています。

三州病院で働かせて頂いて、患者様に対しても、職員間の関係でも、思いやりが沢山ある病院に入職できたと思っています。その中で私も学びを深めてより良い看護ができるようになりたいと思います。

まだまだ、まだまだ、未熟ではありますが一生懸命頑張ります。

よろしくお願い致します。

急性期病棟看護師 永盛美恵

3月より急性期病棟に入職しました。新卒で入職し、3ヶ月が経ちましたが、まだまだ分からないことが多く、先輩方に指導していただき毎日頑張っています。

患者様とコミュニケーションを取る事が好きです。これから、患者様中心の看護が提供できるように、毎日成長できるように頑張っていきたいと思っています。

よろしくお願い致します。

緩和ケア病棟看護助手 柚木めぐみ

4月21日から緩和ケア病棟の看護助手として勤務させていただいています。

今までヘルパーとして働いていましたが病院勤務は初めてです。皆様のおかげで少しずつ慣れてきました。まだまだご迷惑をお掛けすることがあるかもしれませんが、患者様のためにがんばりたいと思いますのでよろしくお願い致します。

緩和ケア病棟看護助手 緒方智美

3月に入職して約3ヶ月が過ぎようとしています。毎日が「生きる」という事に対して深く考えさせられる事ばかりです。人生は日々勉強だと思って頑張っていきたいです。

患者様との縁を大切にしようと思っています。

これからよろしくお願い致します。



新規導入装置紹介

第3弾!!

内視鏡が新しくなりました

当院では、従来から超音波内視鏡、拡大内視鏡を使い、上部・下部消化管の病変の早期発見、早期治療に努めて参りましたが、さらに高精度な検査を行うために狭帯域光観察(NBI)を導入しました。

NBIは、粘膜表面に現れない血管などの病変の特徴を色調として捉え、がんなどの病変の早期発見や病変の悪性度診断、病変範囲の精密診断などを目的に、より精度の高い診断に効果を発揮することができます。

検査を受けてみたいという方、検査について知りたいという方は、お気軽にスタッフまで声をお掛け下さい。

外来師長:西俣 里子

新連載!!

三州コラム ~No.001 Dr.K・H~

この時期、最も大きな出来事といえば、サッカーのワールドカップにおける日本代表の勝利ではないでしょうか。南アフリカを舞台に、連日繰り広げられる熱戦で睡眠不足の方も多いと思います。

世界の強豪国相手に互角以上の勝負をし、国外ワールドカップにおける初勝利。これがどれくらい素晴らしいことかということ、私たち(40代)が子供の頃は、ワールドカップ出場すら「夢のまた夢」であったことを考えれば想像してもらえんと思います。

サッカーは11人で試合をするのですから、チームワークが大切です。選手皆が同じである必要は全くありませんが、お互いに支え合い、補い合って目標に向かう姿勢を、選手、スタッフの皆が持って試合に臨んだ結果でしょう。同じ目標に向かって一致団結して頑張る、とても大切なことだと感じました。家庭、職場、地域でも同じことですね。私たち三州病院も、常に心がけていきたいと思えます。

編集後記

口蹄疫の問題がいまだ解決せず、街では募金箱や消毒の案内板などが所々で見られます。当院でも、消毒用マットを出入り口に設置いたしました。口蹄疫の終息宣言が早く聞ければと思います。さて、今月号より当院の職員によるコラムを始める事にしました。時間があれば非常勤の先生方にも書いてもらおうと計画しております。毎号お楽しみ頂けたらと思います。



(財) 日本医療機能評価機構 Ver.5 認定施設

日本外科学会外科専門医制度修練施設

(医) 倫生会 **三州病院**
消化器病センター

住 所: 宮崎県都城市花繰町3街区14号

TEL: (0986) 22-0230 FAX: (0986) 22-0309

Eメール: sanshu2@mx71.tiki.ne.jp

ホームページ: <http://www.sanshu.org>

ホームページ・広報誌委員会責任者: 貴島 亮

